

ここが問題！リニア新幹線

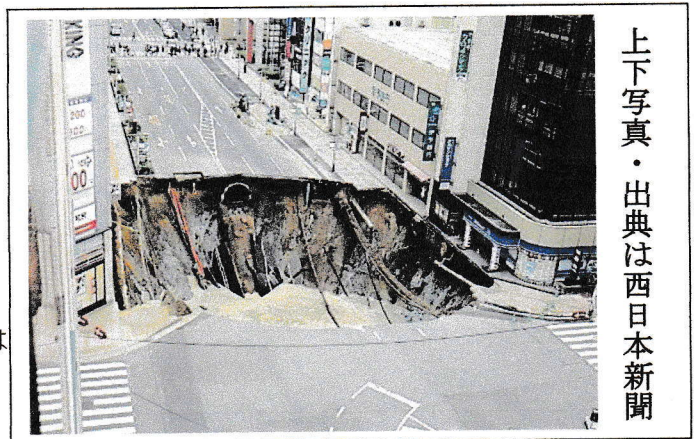
2016. 11. 19 NO. 48 リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会 web-asao.jp/hp/linear

福岡市の地下鉄工事現場で大規模な地盤崩落 ～都市部地下トンネル工事の危険性が露呈～

8日午前5時15分頃、福岡市の博多駅前の市営地下鉄七隈線延伸工事現場で、幅27メートル、長さ30メートルにわたって道路が陥没した。深さは15メートルにわたったが、早朝の時間だったことで人がいなかった。しかし、停電（最大約800戸）やガス漏れが発生し、周辺の一部地域に避難勧告も出された。その後地下水の噴出で陥没した穴は水没した。

陥没現場は博多駅博多口から200mのところ、市営地下鉄七隈線の博多―天神南間1.4kmの延伸工事が行われていた。この工区のトンネル工事はナトム工法で行われていた。以下工事について毎日新聞11月9日の記事を引用する。

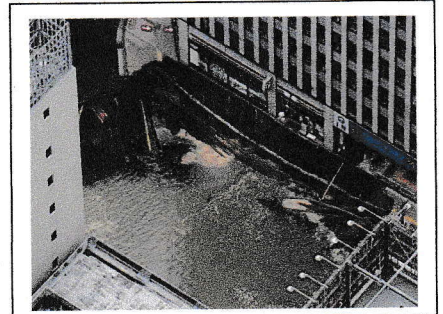
「福岡市によると、現場の博多駅周辺の地盤は過去に隆起したり、動いたりして岩盤に亀裂や断層があると見られ、市もそれを踏まえて工事を進めていた。事故現場の工区は、少しずつ掘り進めて、掘削面をコンクリートで固めていく『ナトム工法』で、掘削部分の上部を鋼材で補強した



という。だが、トンネル掘削のため上部を掘削していた際に岩盤が剥がれ落ちる「肌落ち」と呼ばれる現象がおき、出水、崩落し、沈没した。現場の地層は地表から約16メートルが地下水を含む砂の層で、工事はその下の岩盤の中を掘削。岩盤の上部約2メートルは年度が固まって水を通しにくい『不透水層』となっており、そこを掘削しないよう作業していたという。だが、市交通局によると、『亀裂や断層があると地下水の水圧で押し出されるようになる可能性がある』といい、『劣化していた可能性がある』としている。」



ナトム工法はオーストリアで開発されたトンネル掘削技術で主に山岳部で有効とされるが、工費がシールドトンネルに比べ約半分で済むということから、都市部でも採用されている。写真にあるように事故現場ではシールドマシンを使って切羽で掘り進むのではなく、壁を少しずつ削って進むため工期が長くなるという。なお、地下鉄七隈線の延伸工事は3年の準備期間を経て、1.4kmのトンネルを7年かけて掘削する計画で事業費は450億円となっている。現場はすぐに吹き出た地下水で水没した（下写真）が、復旧について高橋宗一郎福岡市長は自らのブログで次のように述べている。「二段階で復旧する。まずは仮復旧でインフラ復旧と、人とクルマの通行を可能にする。その後本復旧に向けて車線の制限や夜間工事を利用しながら工事する。（道路復旧までの手順について）まずは穴を埋めるため流動化処理土を入れる。これは水の中で固まる。地上近くの地下埋設物＝電気・電話・ガス等のレベルまで埋めて、固まったら地下埋設物を復旧しさらに埋めてクルマが通れるよう復旧する。」



都市部でのトンネル工事は地盤、地質の調査に時間をかけないと事故が起きると、この陥没事故は教訓を与えている。

着工は東百合ヶ丘の立坑工事から。リニア残土を臨海部の埋立てに使う予定ない。市に事前の情報公開の機会を要請

東京・神奈川連絡会は11月4日、リニア新幹線の工事や残土処理について、市のまちづくり局に対し10項目にわたる質問書を提出し、その回答が神奈川公害被害者共同行動日にあたる11月11日にありました。回答の場には、市側からはまちづくり局交通政策室の蔵内課長ら2人が出席、連絡会からは天野、矢沢、山本(太)各共同代表のほか、西村、菅島、鈴木、片平、伊藤(清)、山本(マ)の計9人が参加しました。以下、質疑の内容です。

①JR東海による非常口工事の予定について、②非常口工事に向けての各予定地の準備状況。

<回答> 東百合ヶ丘の工事については設計施工一括方式で公募が行われ、11月7日工業者が大林組、フジタ、大本組に決まった。工事説明会の予定は聞いていないが、ここが先行着工するのではない。梶ヶ谷の立坑予定地については、昨年7月倉庫を解体し今年に入って整地作業を行い、現在緑色の飛散防止剤を撒いている。4月25日工事費の公募見積もりを開始、9月26日に見積もりの提案を締め切った。業者はまだ聞いていない。用地はJR東海が買収すると聞いている。等々力の立坑予定地は9月にJXホールディングからJR東海が用地買収をした。今後の工事スケジュールは聞いていない。犬蔵の予定地はサンワ株式会社と買収の折衝中。片平の予定地はJR東海が日本開発銀行から用地を買収済み。ただし取り付け道路の工事をいつから始めるか未定。

③5か所の立坑からの残土の運搬ルートについて。

<回答> アセスの段階で示された工事車両走行ルート以上は未定。工事説明会で明らかにすると言っている。

④建設発生土の土壌汚染が明らかになった場合の市の対策について。

<回答> 国の土壌汚染対策法と市の公害防止条例の土壌汚染対策で対応する。国よりも市条例の方が内容は厳しい。もし、汚染が確認されれば環境局水質環境保全課が対策を取る。

<質問> 市内のシールド工法によるトンネル工事には外壁にトンネルを固定するため、生セメントなどを注入するので、汲み上げる汚泥に化学物質が含まれるのではないか。

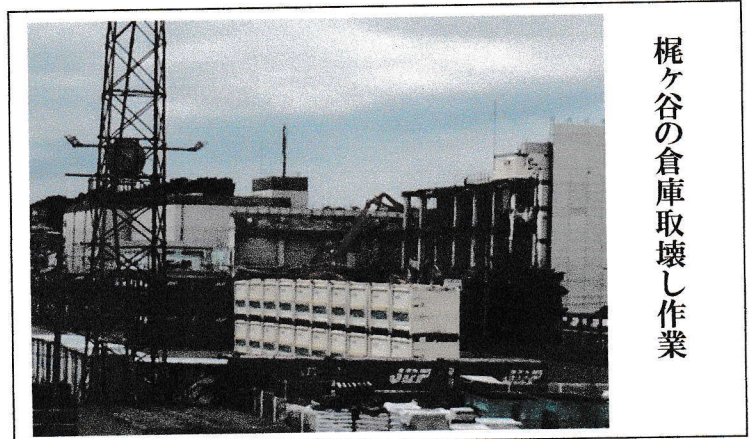
<回答> 化学物質を使うとは聞いていない。水を使いトンネルを掘るので汚泥が発生するが、汚泥は地上で分離し、水だけを河川や下水に流すことになる。

<質問> 梶ヶ谷の立坑予定地近くに矢上川が流れている。汚染や水枯れのおそれはないのか。

<回答> そういうことにならないようJR東海として対策をとるものと思う。

<質問> 梶ヶ谷では県の貯留管トンネル工事が行われている。リニアのトンネル工事と近接して交差し危険ではないか。

<回答> 貯留管トンネル工事は県が行っているので詳細は分からない。



梶ヶ谷の倉庫取壊し作業

⑤港湾局の港湾調査結果が報告されているが、貨物線による運び先は決まったか、⑦臨海部候補地3カ所の場所を公表しないのはなぜか。

<回答> 運び先についてはJR東海が埠頭の企業と交渉中。市港湾局の調査は運び先を決めるものではなく、貨物線による運搬が企業活動や物流に与える影響について把握するものである。

<質問> JR東海が3千万も出して運び先を決めるのが目的だ。市港湾局の報告でも3カ所の候補地を挙げている。

しかし黒塗りになってどこか分からない。何故明らかにしないのか。

＜回答＞明らかした場合、関係企業の活動に影響する。また、秘密保持も協定にあり明らかに出来ない。

⑥梶ヶ谷貨物ターミナルから臨海部に運ぶ工事残土の量について

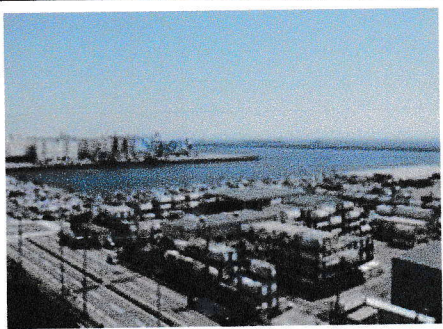
＜回答＞梶ヶ谷からの輸送量は151万㎡ですべて貨物で運ぶことを前提に、臨海部への輸送の影響を調査した。14両編成で一日10往復を考えている。現在の市内の貨物によるゴミ輸送には影響は無い。

＜質問＞残土の貨車への積み込み作業は一日中やるのか。

＜回答＞時間については聞いていない。夜間もやるかも知れない。

＜質問＞梶ヶ谷には残土を仮置きするのか。発生量が多いので仮置きしたら流出などの危険がある。

＜回答＞JR東海の資料にあるように、残土ピットをつくりそこにある程度貯めるのではないのか。



⑧臨海部に運んだ場合、仮置き場をつくるのか。

＜回答＞JR東海は、直接船に積み込むか、水際に仮置き場をつくるか両方を検討していると聞いている。

⑨リニア工事残土を臨海部の埋立てに使うとの声もあるが。

＜回答＞港湾局に質したが、今のところ埋め立てに使う予定はないとのことだった。

⑩工事残土の運搬、保管にあたっての安全対策は大丈夫か。

＜回答＞評価書で安全対策を講じると書かれているが、市としても安全

対策についてはJR東海に万全な対策を取るよう求めていく。 (左上写真は臨海部の東扇島)

事前に工事内容や環境対策の情報公開が必要、市もその方向で調整すると回答

質問に対する回答のあと、私たちはJR東海が地域の工事説明会以前に、工事内容と環境安全措置について市民や市議会に事前の情報公開することを求め、そのために市として最大限の努力をするよう要請し、市側も「事前に市、JR東海、市民が同席した場を設けることは難しいと思うが、地域の工事説明会以前に市民や市議会に工事内容等を伝えることが可能かどうか調整したい」と答えました。

これまでの町内会ごとの事業説明会では、工事車両の走行ルート周辺の住民らの参加を拒否したり、質問をさせないなど、JR東海は傲慢かつ一方的な姿勢で一貫しており、このやり方が市民の更なる反発を買っています。また、地域説明会の開催告知は町会の回覧板を使って行っているため、住民の見落としや町会未加入の住民には届かないことがあり、極めて告知が不十分です。また、先行した他県の工事説明会では、いきなり事前の計画とは違う内容が示されたりして、住民が混乱、反発する事態が起きています。

リニア新幹線は川崎市内5区16.3kmを大深度トンネルで走行する計画です。そして、工事車両の走行範囲は、尻手黒川線を中心に246や多摩川沿線道路など広域にわたります。ですから、工事による住民生活への影響を沿線の狭小な地域に限定出来ず、広く市民に工事内容や環境対策を知らせることが不可欠です。

今後も、可能な限り鉄道輸送するようJR東海を指導監督して行く～石井国交相が国会で答弁

11月16日の衆議院国土交通委員会で、畑野君枝議員(日本共産党)が、リニアの川崎市梶ヶ谷の非常口から排出される建設発生土の貨物輸送について質問、これに対し石井啓一国交大臣は次のように答えました。

『環境影響評価書では、川崎の梶ヶ谷非常口からの建設発生土の量は151万㎡と聞いている。評価書ではこれをダンプトラックで運ぶとなっているが、梶ヶ谷からは出来る限り鉄道貨物を利用し臨海部へ運ぶ計画であり、大気質や安全交通など環境影響の低減に努めていくとなっている。これを踏まえて、鉄道貨物を利用した場合の積出候補地の検討を行うため、川崎市臨海部における調査を川崎市港湾局に委託し実施したと聞いている。この調査では、積み出し港へ運ぶケースではダンプトラックによる環境への影響は生じないとしているが、一方で一部の踏切で遮断時間が増加すると聞いている。これを受け、JR東海は踏切の遮断時間の調査をしている。国交省としては環境影響に配慮して可能な限り鉄道輸送を活用するようJR東海を指導・監督していく』。

橋山禮治郎、川村晃生両氏が国会に参考人として招請され、意見陳述、自己負担の前提崩す リニア全線開業への財政投融資投入に反対



「初めにリニアありきで推進、
一旦計画を中断し再検討を」
(10/26衆院国交委員会)
アラバマ大学名誉教授

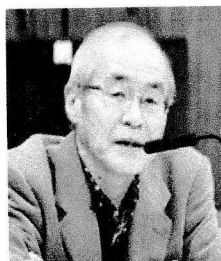
橋山禮治郎氏

「初めにリニアありきで検討され、在来新幹線方式という別の選択肢も無かった。リニア新幹線が開業しても、東京一極集中を加速させる上、人口減とくに生産年齢人口が大幅減少する中で、リニアの採算性は成り立たず、結局リニアの経済効果は見込めない。事業評価は厳格に行うべきで、リニアと東海道新幹線それぞれ単体の事業評価を行わないで、一体経営で黒字になるからリニア事業を認可するのでは筋が通らない。交通審議会の答申では、在来新幹線の方が建設費用や安全性、省エネ性、環境対策の面で優位なのに、高速性だけが優位のリニアを採用するとしているが、理屈に合わない。リニア事業については推進を一旦中断し、一年くらいをかけてじっくりと再検討すべきだ」。

「経済効果ばかりの議論は
空疎でいびつでむなし」
(11/10参議院国土交通委員会)
リニア沿線住民ネット共同代表
慶應大学名誉教授

川村晃生氏

「リニア実験線が通る山梨県笛吹市御坂町では、数キロのトンネルを掘っただけで異常な増水・出水や水枯れが起きた。南アルプスにトンネルを掘れば、もっと大規模な出水や水枯れが起き、住民生活や生態系に極めて深刻な事態をもたらす。全線の86%を占めるトンネル工事で多量の残土が出るが、処分先が決まっているのは25%にすぎない。こうした問題がありながらアセス(環境影響評価)は不十分。JR東海は住民の意見を聞く態度が希薄である。国交省意見では『地域住民に丁寧な説明し理解を得ること』や最大限の情報公開を求めているが、説明会で見るJR東海の姿勢はこれと逆行するものだ。国会は国会としてリニアの議論をしていただきたい」。



JR東海への3兆円融資を可能にする鉄道建設・ 運輸施設整備支援機構法一部改正案が成立へ

これまで融資機能がなかった鉄道・運輸機構にJR東海への融資を可能にするための法律案が、10月26日の衆院国交委員会質疑後に自民・公明・民進・維新等の賛成で可決され、11月10日の参院国交委員会でも同様に可決され、今国会で成立することになりました。

反対は共産党と希望の会・自由・社民だけでした。また可決にあたって自公民維4党提案の付帯決議も賛成多数で採択されました。内容は「財政投融資にあたって、政府はJR東海の経営の自主性を損なうことの無いように」というもので、「融資は歓迎するが政治介入はするな」というJR東海の意向に沿ったものです。

またJR東海への融資3兆円の返済は40年ですが、金利は0.6%、30年目以降に元金を10年均等で返済すれば良いという大甘なものです。財務省も、融資にあたってJR東海の財務分析も、リニアの採算性検討も行っていない上、多数の社員が鉄道・運輸機構に出向していることも明らかになり、国の公共事業がJR東海に乗っ取られた形になっています。国民不在、利用者不在です。

リニア新幹線冬季勉強会

リニア新幹線の電磁波って安全？

12月16日(金)

午後6時15分～8時30分

場所: 麻生市民館第一会議室(定員45名)

資料代: 500円

ゲスト: 網代太郎さん

(元毎日新聞記者、現在電磁波問題市民研究会事務局担当)、著書に『スマートメーターの何が問題か』(緑風出版)など。

網代さんは先日、リニア山梨実験線に試乗し、電磁波を測定しました。知っているようで知らない電磁波とその影響、電磁波過敏症について分かりやすく解き明かします。(問い合わせは下記へ)

ここが問題！リニア新幹線NEWS NO. 48

発行: リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会

天野捷一(中原・高津) 090-3910-8173

山本太三雄(宮前) 090-8775-1879

矢沢美也(麻生・多摩) 090-6108-6568